

6万人が感動した教育界の知られざる名作

# 『大きな学力』

第2弾

生徒、父母、市民から寄せられた感想より

自分の悩みが小さく見えてきた！  
(高校3年生)  
私も不安や悩みなどが沢山あります。この本を読んで私が悩んでいる事が小さく思えました。世の中にはもっと大きな事で悩んでいる人がいる事、それと、挑戦する事を教えてもらいました。

理想の教師像が変わった！  
(教師志望の学生)  
自分の理想の教師像が変わった。子どもの心の闇を受け止めるには、よく聞き、受け入れ、共感できるか、まさに人間としての器が問われる。父母、社会、地域の人々と関わりながら、失敗を恐れず、波風体験を大切にしたい「何を言ったか」ではなく、「誰が言ったか」の“誰”になりたい。

壁にぶつかった時こそ、「内的勝利」を！  
(父母)  
子育てに悩むとき、人生の壁にぶつかる時、どのように考えたら一歩前に進めるか迷ったときこそ、手に取りたくなる一冊です。私はとりわけ「内的勝利」についての記述部分が心に響いてなりません。

単なる教育書ではなく、人生の指南書  
(市民)  
単なる教育書にとどまることなく人生の指南書のように。こういう教育がされていることに対して一市民として深く感動しました。じっくりかみしめながらもう一度しっかり読みたいと思います。

生きる勇気が湧いてきました  
(京都府・夫を亡くした市民より)  
波風をいとわないでというメッセージ。生きる勇気が湧いてきました。

子どもたちや、親たちが苦闘し、もがき、そしてついに、輝ける時間を手にするまでの真実のドキュメントがここにある。

## 「21世紀型学び」

### の 人間群像

# 波されど 風体験

自分の「大きな力」に気づくまで

寺内義和



教育の「常識」には「ウソ」がいっぱい！  
6万人が感動した教育界の知られざる名作  
待望の書き下ろし  
「大きな学力」第2弾



## 愛知父母懇 40周年記念 「第42回総会」



2020年11月3日 高校生ビッグフェスティバル (モリコロパーク)  
私学をよくする愛知父母懇談会は高校生の活動を支援しています。

2021年5月23日(日)  
名古屋市公会堂

# 愛知父母懇40周年記念 「第42回総会」プログラム

## 文化行事 父母懇群舞サークル

群舞「町にみどりの広場がある」

## 希望プロジェクト 2021

## 式典行事

開会の言葉  
会長挨拶  
来賓紹介  
来賓あいさつ  
祝電・メッセージ紹介

## 40周年記念行事

## 総会行事

議長団・書記・議事録署名人 選出  
2020年度活動報告  
2020年度会計報告・監査報告  
2021年度役員提案  
新役員あいさつ  
2021年度活動計画（案）  
2021年度予算（案）  
総会決議（案）  
議長団・書記・議事録署名人 解任  
閉会の言葉



・シンボルマーク  
愛知（ローマ字の頭文字A）をバックに私学（スクールの頭文字Sが回転永久運動の型）  
父母懇（人形を複数で会員表現）の趣旨を圖案化

〔小林淳一氏の原画〕

## 2020年度 活動報告

私たち「私学をよくする愛知父母懇談会」は、「誇りをもって選び、学び、語ることのできる私学を！」「ひとりぼっちの父母をつくらない！」を合言葉に、41年間にわたって活動を積み重ねてきました。子ども達を真ん中に父母と先生、市民が一緒になって、お互いに学び、助け合い、共に成長できる教育・文化活動と私学助成の拡充による「公私格差の解消」を目指して活動してきました。

昨年度末より世界を襲った新型コロナウイルスにより、2020年度の始めから愛知父母懇の活動も大きく影響を受けました。感染拡大防止の為、5月の総会、6月の「教育を考える初夏のつどい」が中止、7月の第32回サマーセミナーが延期となりました。夏季一泊研修は形態を変え、半日開催と企画した「夏の研修会」も中止せざるを得ませんでした。それでも「教育に公平を」「21世紀型学び」を多彩に豊かに創り上げよう」という気持ちを持ち続け、6月頃よりマスクの着用・検温・手指消毒といった感染対策が周知されてからは、「今何ができるのか」「今何をしなければならぬのか」を問い続けながらコロナ禍における父母懇活動を模索してまいりました。

夏、高校生フェスティバルが行った戦後75年ピースリレーにおいて、子ども達は3日間にわたり愛知の戦跡を自転車であらためてめぐり、戦争について学びました。父母も現地へ行き、頑張る子ども達にエールを送り、元気をいただきました。

9月末から始まった「地域別県民文化大祭典2020オータムフェス&夢の学校」は、県下37会場において100人規模で開催されました。各会場でコロナ禍でできる工夫をこらした「企画」、「希望プロジェクト2020」として、今年度発表する場がなかった部活発表や作品展、映像等で、多くの私学高校生や公立中学生にも協力していただきました。これまでの合唱の代わりに父母は新しいクラッピングに挑戦しました。「Tomorrow」の曲にのせて多くの父母と一緒に取り組み、高校生や中学生も巻き込んで、オータムに華を添えました。この雰囲気の中で式典では91名の県会議員の先生方にご登壇いただき、「年収720万円未満世帯無償化」により「私学選択の自由」が大幅に拡がった事への感謝の気持ちを伝え、さらなる「私学無償化」拡充へのお願いを幅広い世代の皆さんとすることができ、どの会場でも大成功を収めました。

11月3日(火、祝)にモリコロパークでBIGフェスティバルが開催されました。雲一つない秋晴れのもと、大芝生広場にて模擬店や大縄跳び等の初めて行った様々な父母懇企画に、多くの学園、ブロックの父母が集い、つながることができました。午後は大村知事をお迎えして、学びの中で成長した子ども達は「私学を無償に！」の切実な思いや、コロナで高校生活はどうなったのかをテーマにした弁論、500人群舞、子ども達の合唱にクラッピングで加わったたくさんの父母で創り上げた壮大な希望プロジェクトは、知事をはじめとする参加者に大きな共感と感動を与えました。

子ども達は「私学奨学資金財団1億円募金」の取り組みを続け、父母は年間を通してその活動に寄り添い、見守ってきました。

2020年度、「私学助成拡充を求める請願署名」において、県署名は代表請願とし、12月の県議会において、全党一致で採択されました。「丁寧な署名」を心掛け取り組んだ国署名は223万筆を集め、提出することができました。私たちの切なる願いを受け止めていただき、愛知県の2021年度予算では、授業料助成については年収720万円未満の世帯で9,600円、年収840万円未満世帯では4,800円と、2年連続で平均授業料に見合う増額となりました。市町村助成においては県の対象にならない世帯への助成の増額を行った名古屋市の制度を意識した増額を実現する地域もあり、一層の「私学選択の自由」につながる制度になりました。

緊急事態宣言が明け、3月21日(日)には、初めてオンラインも取り入れた新しい形での「春の研修会」を開催することができました。ウイールあいちの会場はもちろんオンラインで7か所を超えるサテライト会場、そして個人と様々な方法で300名を超える皆さまにご参加頂き、一年以上ぶりに愛知父母懇がつながりました。全体会で高校生フェスティバルの新群舞や基調報告、交流会では高校生弁論、ブロック・学園のレポート発表が行われ、今後の父母懇活動へつながる大切な日となりました。

愛知私学の教育実績と人間ドラマが詰まった『されど波風体験』と『大きな学力』の2冊を、より多くの父母や市民の皆さまに読んで頂きたいという思いで、各種行事で普及することができました。ぜひご一読下さい。

## コロナ禍で傷つき、孤立を深める世の中に、“ヒューマニズム”に溢れる「21世紀型学び」で、私学らしい人間教育を創造し、発信しよう!

### 子どもと大人が共に育ちあう、私学らしい「21世紀型学び」の創造へ

今、愛知私学では、生徒、父母、教師、市民が一体となって、「21世紀型学び」をめざして、様々な取り組みが行われています。中でも「愛知サマーセミナー」は「教育改革の壮大な挑戦」として全国の教育関係者はじめ多くの人々から大きな注目を集めています。

第32回を迎える「愛知サマーセミナー」(7月17日～18日)は、愛知県の「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に従って、名城大学ナゴヤドームキャンパス、名古屋経済大学市邨高校を会場に開催されます。著名な特別講師陣はもとより、心熱い生徒、父母、教師、市民による約500講座(会場規模の関係で例年の4分の1の講座数)のラインナップも決まりました。“参加し、共同して、社会とつながる”「21世紀型学び」の祭典として、今年もたくさんの学びと感動を与えることでしょ。

愛知父母懇は、このサマーセミナーを運営する「主力部隊」です。行政や地域の諸団体から協力を取り付け、講座の募集や宣伝、当日の受付やスタッフまで、父母の力によってサマーセミナーは支えられています。活躍する父母の“笑顔”で、サマーセミナーは「“ありがとう”の連鎖」が生まれ、誰もが「やってよかった」と感じる“夢の学校”になっています。

### 社会に「感動」と「共感」の渦を巻き起こす高校生の姿!

愛知私学に、年々新たな輝きを加えているのが高校生フェスを中心とする、生徒たちの躍動です。高校生フェスは1986年に始まり、既に35年。生き生きと活動する姿で、父母、教師を元気にし、市民に共感を広げてきました。その思いは「高校生は無力じゃない」「私たちは希望になりたい」などの言葉に凝縮されています。

昨年夏、「戦後75年」にあたって、愛知県内の戦跡を自転車めぐり、戦争体験者の話を聴く「自転車ピースリレー」を行い、マスコミにも報道されました。「ナマの現実」から学び、「心揺さぶられ」行動する生徒たちを、休憩所の設置、伴走などの寄り添いで父母懇が支える、愛知私学

## 「年収720万未満世帯」まで授業料と入学金が無償化され、私学に子どもが通っている世帯の半数が無償!

「学費と教育条件の公私格差の解消」は、父母懇の原点

の象徴的な場面となりました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大によって、数多くの学校行事、部活動の大会が中止になる中、「生徒の輝く場を創り出そう!」と「私学合同文化祭」の位置づけで、11月3日に「高校生ビッグフェスティバル」をモリコロパークで開催しました。大村秀章愛知県知事に登壇頂き、「希望プロジェクト」を演じた生徒たちに「私も胸が熱くなった」とエールを送って頂きました。

### 「まだ見ぬ仲間を救おう!」億円募金活動、「希望プロジェクト」— 利他の思いで、学び、行動する中高生

生徒たちは1999年から、「経済的な理由で苦しむ仲間を救おう!」と街頭で「1億円募金」を行ってきました。現在累計で約1億8千万円に達しています。これは1976年、学費の高騰の中で、経済的な理由で退学せざるを得ない生徒たちを前に、先生たちがポケットマネーを出し合って設立した「私学奨学資金財団」の原資となります。年間12万円を無利子で貸し出し、これまで3073人が奨学金を受けています。特に、昨年は、コロナ禍で家庭の経済状況が急変した仲間の力になりたいと、生徒たちは街頭に立ち続けました。

また、東日本大震災が発生してから10年間、復興支援の取り組みを続けてきました。震災復興支援や社会とつながる“学び”、学費の公私格差解消など、自らの足元の問題を結合した「希望プロジェクト」は、新歓フェスやBIGフェス、オータムフェスなどで大きな感動を広げ、「社会と向き合い学び行動する」生徒たちを次々と生み出しています。

### 「一人ぼっちの父母をなくそう!」

### 愛知父母懇は「21世紀型学び」の大黒柱です

「私たちが学校の枠を越えてつながることができるのは、大人がつながっているからです。愛知には、父母さんたちのつながりが30年以上あるのです」(全国高校生サミットでの生徒発言より)

生徒たちがこうして躍動できるのは、学校の枠を越え、地域と深くつながった愛知父母懇の活動があるからです。まさに「父母懇というきんと雲があるから、その上で、孫悟空のように安心して活躍できる」(小島昌夫氏・教育研究者)のです。

「私学をよくする愛知父母懇談会」(略称:父母懇)は1980年に結成されました。当時、公立と私学の学費の格差は30倍以上に広がり、同じ高校生

でありながら、高い学費負担を強いられる父母の願いは切実でした。学費と教育条件の「公私格差」の解消は、「一人ぼっちの父母をなくそう!」と共に、父母懇の「原点」です。私たちの先輩は、長年にわたる運動で私学助成を拡充し、学費と教育条件の「公私格差」を縮小してきました。

毎年秋には、私学助成拡充を求める請願署名を集めると共に、父母、教職員、生徒、そして多くの市民の参加を得て、これまでに、「地域別県民文化大祭典(オータムフェス)」「ドーム祭典」「レインボー祭典」などの教育集会に取り組んできました。

### 2020年度から“父母懇40年の悲願”が実り、「2人に1人」が「私学無償化」の時代へ!

愛知県は、昨年度、「年収590万未満」世帯の授業料を無償化する「国の就学支援金」の増額分を全額活用して、「年収720万未満」世帯まで、授業料と入学金の無償化を拡充しました。父母負担の軽減では、全国トップ水準の私学助成と言えます。父母懇が40年にわたって積み重ねてきた、粘り強い運動によって、私学に子どもを通わせている世帯の半数まで無償化が拡充されました。

昨年は、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底して、県下37会場で「地域別県民文化祭典(オータムフェスティバル)」を開催しました。91名の県会議員にご登壇頂き、「私学無償化」への感謝を伝えると共に、私学教育への共感を深める場となりました。

### 今年度、高校の経常費助成は国基準を維持、授業料助成は制度にのっとり、増額!

今年度予算においても、「授業料助成」は制度を維持して、新1年生では、授業料の県平均にあわせて、9,600円増額されました。また、全ての生徒を対象にした学校への「経常費助成」は、高校では国基準を維持して、生徒一人あたり4,146

円増額され、34万5,069円が助成されることになりました(中学生は32万757円)。

### 豊かな私学教育と、全ての子どもが“学費の心配をせずに私学を選べる”ために

現在、令和5年実施を目指して、公立高校の入試改革の議論が行われています。検討されている「特色選抜」をはじめとする改革の内容は、公立高校の学校間の格差を広げ、序列化を進めると共に、定員の多くを推薦で募集している私学にも大きな影響が出るのが懸念されています。

公立高校は、年収910万円未満世帯まで無償ですが、私学の学費は、年収720万円を超える世帯に大きな負担が残っており、兄弟姉妹で私学に通おうと思えば、まだ私学を自由に選べる状態ではありません。

私学の無償化を拡充して、全ての子どもが“学費の心配をせず、自由に私学を選べる”ように、そして私学らしい人間教育を目指して、愛知父母懇は、これからもたくさんの人とつながりながら豊かな活動をすすめていきます。

### 「名古屋市の授業料助成」県の対象にならない家庭に、「850万円～年収970万円」44,000円「970万円～年収1130万円」27,000円

「私学助成をすすめる会」の条例制定運動(1973年)によって、名古屋市では「教育の機会均等」の理念に基づいて、県の制度の対象にならない世帯に対する独自の授業料助成制度がつくられ、40年以上実施されてきました。昨年、制度にのっとり、9年ぶりに増額され、今年度は、「年収970万円未満」世帯に44,000円、「年収1130万円未満」世帯に27,000円が助成されます。※名古屋市以外でも、県内のほとんどの市町村に独自の授業料助成制度があります。

## 地域別県民文化大祭典

高校生BIGフェス	11/3	愛・地球博記念公園(モリコロパーク)	春日井集会	春日井市総合福祉センター	天白集会	11/21	天白生涯学習センター	
			名東集会	東邦高校	(東集会)		東海中高	
豊川新城集会	10/3	豊川高校	中村・中川集会	同朋高校	南集会	11/22	大同高校	
豊橋集会	10/4	桜丘高校	稲沢集会	中和医療専門学校	北集会		北文化小劇場	
瀬戸集会	10/18	聖霊高校	犬山集会	大市民交流センターフレイ	長久手集会		長久手市役所西庁舎	
中集会	10/25	長円寺会館	日進東郷集会	11/14	東郷町いこまい館	昭和集会	南山高校男子部	
知多半島北部集会		東海市芸術劇場	海南・愛西津島集会		愛知黎明高校	あま大治集会	11/23	七宝焼きアートビレッジ
尾張旭集会		スカイワードあさひ	千種集会	11/15	椋山女学園中高	瑞穂集会		高蔵中高
熱田集会	10/31	熱田生涯学習センター	岡崎・幸田集会		岡崎城西高校	北名古屋豊山清須集会	11/28	清洲市民センター
安城集会		安城アンフォーレ	西集会		山田地域センター	知多半島南部集会	11/29	武豊ゆめたろうプラザ
緑・豊明集会	11/7	ユメリア徳重地区会館	岩倉集会		岩倉市総合文化センター	守山集会		守山文化小劇場
江南集会		扶桑中央公民館	小牧集会		小牧東部市民センター	一宮集会		一宮iビルDシビックホール
港集会	11/8	南陽交流プラザ	豊田集会		豊田市民文化会館			

## ブロック・学園・地域センター

### ■ブロック活動

地域に在住する父母・生徒・先生が「一人ぼちの父母をつくらない」を合言葉に学園の枠を超えて、担当学園父母懇と協力しながら地域とつながり、よりよい教育を目指して県下54ブロックで活動を進めてきました。

年度当初から、新入生父母歓迎会や定例会、レク活動など例年行われているブロック活動を中止せざるを得ない状況が続きましたが、「BIGフェスティバル」をはじめ「オータムフェスティバル」を県下37会場で開催することができました。開催にあたり各実行委員会では新型コロナウイルス感染拡大防止対策について慎重に議論し、また映像を活用するなど工夫を凝らした「希望プロジェクト」が行われました。高校生による弁論や群舞・部活動発表、父母によるクラッピングなど、充実した時間を共有することができたのです。

「網の目教育懇談会(高校進学相談会)」はオータムフェスティバル会場を含む全90会場で開催され、例年を大きく上回る約2400人の参加がありました。実質無償化が720万円世帯まで拡大し、私学選択の自由が広がったことで、多くの公立中学生とその父母の関心の高さを実感しました。各会場では、父母・生徒・先生が私学教育について語り、参加者の注目を集めました。

今後も笑顔を決やさず「すべては子どもと教育のため」にブロック活動を進めてまいります。

### ■学園活動

各学園父母懇においても例年のような活動が大きく制限されました。それでも休校が明けると「どんな形なら活動できるのか」を模索し、7月から9月には多くの学園で新入生父母歓迎会や地域別

懇談会が開催されました。

秋には各学園単位の「助成金学習会」も行われ、オータムフェスの運営・式典参加・講座開講など主体的に活動することで公立中学校との関係を深め、オータムフェスの成功に大きく貢献しました。

愛知父母懇で取り組んだ「クラッピング」練習会(長円寺会館)には各学園から多くの参加者がありました。「前夜祭」「BIGフェスティバル」「オータムフェスティバル」の各会場で披露され、参加者の感動をまき起こしました。

「春の研修会」のレポートからは苦労の中にも工夫と情熱が伝わり、参加者から「勇気がわいた」「アイデアを共有できた」と好評でした。

これからも父母・生徒・先生・市民のつながりを深め、「今だからこそできる学園父母懇の活動」を模索しながら、あきらめることなく歩み続けていきます。

### ■地域センター

愛知県内を10の地域(名古屋東部・西部・南部・北部・中部、尾張東部・西部 知多、西三河、東三河)に区分し、各地域の活動を促進する役割を担います。各地域センターの活動には、所属するブロック・学園の代表者、父母、生徒、先生が積極的に参加しています。地域センターが中心となって、各ブロック・学園の情報交換・情報共有を促進することで、つながりの深い、互いに支え合う活動が可能となっています。地域の特性を踏まえた活動は、各センター間の交流を深めることで、より実りあるものになると考えられます。「公私格差の是正」「教育の公平」などの大きな課題にも、地域の意見を集約して臨めるように努めてまいります。

## 2020年度 研修会等の開催と参加

### ■新型コロナウイルス感染拡大防止のため

全国の皆さまとの交流集会である「全国父母懇交流集会」は中止。また、「全国私学夏季研究集会」は延期となり、2020年度は参加できませんでした。愛知父母懇の夏の「一泊研修」(午後から開催予定)も中止といたしました。

### ■「春の研修会」

テーマ:

「〈今〉だからこそ、心をつなぎ

お互いに励ましあい 希望の未来へ出発する  
愛知父母懇春の研修会」

例年の春季一日研修会に代わる「春の研修会」が、3月21日(日)ウィルあいちを会場に初のオン

ラインでの参加も取り入れ開催されました。参加者の308名のうち現地参加者181名、Zoomを使用したオンライン参加者が127名でした。オンライン参加では、個人で参加された方のほかに、先生と父母が複数名集まる「サテライト会場」を設置。Zoomで各会場にアクセスすることで、全体会や交流会の内容について、その場で意見や感想などを出し合うブロックや学園もありました。

高校生フェスティバルの皆さんによる新群舞の披露で幕をあげた全体会は、折出父母懇会長からのオンラインでの主催者挨拶に続き、愛知私教連委員長仲井先生は現地壇上から基調報告として、私学を取り巻く現状や今後10年の明確な展望が熱く語られました。年収720万円未満世帯まで拡大した私学無償化の新たなステージで、コロナ禍と

対峙した私たちがオータムフェスで何を創り出してきたのかを分かりやすくかつ詳細に報告され、父母懇活動の必要性を改めて学ぶことができました。

ストレッチ体操を取り入れた休憩をはさんだ後、高フェス・ブロック・学園交流が行われました。まず高校生からは、高フェスの経験を積み、考え、行動したことを弁論という形で語っていただき、成長した逞しい生徒の姿に感動と元気をもらいました。続いて現地、オンライン、パワーポイントを用いるなど様々な発表形式で、ブロック・学園のレポートが行われ、どの発表もコロナ禍

## 2020年度 初めてのとりくみ

### ■BIGフェス企画

11月3日高校生フェスティバル実行委員会が主催する「BIGフェスティバル2020」において、会場の一部の場所をお借りして初めての試みとなる父母懇企画を開催いたしました。

晴天の中、モリコロパーク大芝生広場では、「わくわくクラッピング」から始まり、「星に願いを」で父母たちの思いを込めたメッセージカードでのツリー完成!

「研修会『まとめ集』&高フェス『OBニュース』見放題」にてドリンクを飲みながら、父母たちのひとときの交流を深めることができました。「チーム対抗輪投げ大会」では父母だけでなく、高校生や小さいお子さまと共に楽しみ、「センター対抗大縄跳び大会」では、父母・生徒・先生でチームを組み、爽やかな汗をかいて楽しく交流することができました。

父母懇主催の模擬店も、高校生に交じって出店

で苦労しながらもつながりを絶やさないように様々な創意工夫をしながら活動している取り組みが何われ、大変有意義な時間を共有することが出来ました。

対面での交流に勝るものはありませんが、コロナ禍の中Zoomを用いて、ウィルあいち会場、サテライト会場、個人、それぞれの参加者を中継しつないだ開催形式をとったことで、会えなくても繋がっている一体感を感じることもできる研修会でした。課題は沢山ありますが、新しいチャレンジとして「春の研修会」を通じ、2021年度に向けて参加者への大きな刺激になりました。

され、午前中から参加した父母の集いの場となりました。高校生の躍動する姿を真近に見ながら、父母たちの笑顔が溢れる楽しい一日となりました。

### ■クラッピング

年に一度の大きなイベント「オータムフェスティバル」では、父母懇は毎年、「希望プロジェクト」における「合唱」に参加し盛りあげています。しかし、2020年は大勢での「合唱」は困難な状況となりました。それでも「何かできることはないだろうか。活動を止めずに、今できることを考えたい」、そんな思いから取り組んだのが、声を出さずに思いを表現できる「クラッピング」でした。演技をされた方は笑顔にあふれ、実現できた会場では大いに盛り上がり、感動を作りあげることができました。同時に、状況に合わせた前向きな思考が大切だということを学ぶきっかけとなりました。

## 父母懇サマーセミナー実行委員会

2020年7月に開催を予定していた第32回愛知サマーセミナーは新型コロナウイルスの影響により、検討を重ねた結果一年延期となりました。父母懇サマーセミナー実行委員会では、延期の決まった秋以降も、コロナ禍における「新しいサマーセミナー」として今だから出来ること、今しかできないこと、今だから変われることを模索しながら安心安全を第一とした父母懇としてのサマーセミナーへの関わり方を議論することを中心に活動いたしました。また、オータムフェスでは模擬店を出店し実行委員会の絆を深めるなど、次のサ

マーセミナーへの準備を整える有意義な時間を過ごすことができ、エネルギーをたっぷり蓄えられた貴重な一年となりました。

さて、第32回愛知サマーセミナーは7月17日(土)18日(日)名城大学ナゴヤドーム前キャンパス、市邨高等学校・中学校および周辺の諸施設他で、名誉校長に吉野彰氏(名城大学名誉教授)をお迎えし開催いたします。感染予防対策を第一課題として父母懇サマーセミナー実行委員会の活動を前に進めて参りたいと思います。皆さまの変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 父母懇一億円募金実行委員会

日ごろは、一億円募金活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

2020年度は2,319,916円の募金を集めることができ、奨学金貸与者は31名で、この募金によって

多くの生徒を救うことができました。

2020年度は、コロナ禍で生徒も学校生活や家庭において様々な制約を受けました。集まることができない中、生徒たちは苦しい思いをしながらも、状況に合わせてできることを模索しながら活動しています。

生徒たちは、「まだ見ぬ仲間を救おう！」をスローガンに「学費の問題で自由に学校を選べない」「親のリストラや、失業によって学校をやめなければいけない」などの苦しい状況の仲間を一人でも多く救うため、また今は、「コロナ禍で経済的に苦しむ仲間を救う」ため、懸命に募金活動を行っています。この活動を通してさまざまな社会問題にも目を向け、並行して被災地支援募金にも取り組んでいます。

## 「されど波風体験」普及推進委員会

今年度も本の普及はもとより、「本の内容を普及する」をテーマに、常幹会でお薦めの単元を取り上げて感想を述べ合い、本の内容を広く交流しました。

また、毎月1回の委員会の開催を定例化し、初夏のつどい、サマーセミナー、一泊研修会、全国父母懇交流集会、オータムフェスティバル、一日研修会などでの本の普及活動について話し合いました。5月30日には、映画「それぞれの旅立ち」上映会と、著者である寺内義和先生のミニ講演会

毎月ゼロの付く日や週末には、地下鉄栄駅16番出口付近や金山駅付近等々で募金活動を行っていますので、見かけられましたらお声がけをお願いします。

私たち一億円募金実行委員会は、オータムフェスティバルの各会場で募金箱を設置するなど、募金活動の様子を知っていただけるようコーナーを設けさせていただきました。また、書き損じはがきの収益金を募金に充てることで応援しました。ご協力いただきありがとうございます。

今後も、生徒たちが行きたい学校に笑顔で通うことができるよう活動してまいります。

皆さまの温かいご理解とご支援をよろしく願っています。

を開催します。どなたでも参加できます。ぜひご覧下さい。『されど波風体験』『大きな学力』は、父母懇の原点であり、子育てや生き方の方向性を示してくれている本です。普及をひろげることで、父母、先生や市民の方に私学教育や父母懇活動について理解を深めていただけたらと思います。

皆様には一年間普及活動にご協力いただきましたことを感謝するとともに、今後ともご協力をよろしく願っています。

## 父母懇40周年記念実行委員会

「鬼怒川の誓い」から、先輩方の積み上げてこられた40年の汗と涙、そして誇りがあります。父母懇と出会い、子どもたちのために！と活動をする中、大変なこともあります。多くの仲間とともに乗り越えてきた歴史。その貴重な体験を＜父母懇40周年記念誌＞にまとめました。父母懇40周年を次の世代につなぐ構成詩や映像を交えた希望プロジェクトや、40年をつないで来られた歴代の方にお話を伺う《父母懇40周年記念レセプション》を開催する予定でした。しかし新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場の名古屋市公会堂の飲食の許可が下りなかったため、レセプションの開催を断念し、本日行われる「第42回総会」の中で、「愛知父母懇40周年記念行事」を行

う形に変更させていただきます。短い時間ではありますが、愛知父母懇40年間の歴史がわかる、また蘇る素敵な希望プロジェクトとなっておりますので、お楽しみください。

コロナ禍で2020年度の父母懇総会が延期となり、2年越しになりましたが、無事に記念誌を発刊することができました。ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

これからも、「一人ぼっちの父母を作らない」を合言葉に、“子どもたちを真ん中に、教育をみんなの力でつくる”ことを、父母の皆さまと先生方、そして地域の方とともに支え合いながら、希望の未来に向かって、子どもたちとともに輝きつづける父母懇活動にしていきたいと思います。

## 専門部活動

### ■助成金部

助成金部は夏の一泊研修、春の一日研修会で三分科会「助成金」を担当し、県と国の私学助成について参加者のみなさんと楽しく学習できるように企画運営をしています。秋には、請願署名の

全体集約を行っています。

2020年度の私学助成の署名は、県に対しては代表請願として提出し、国への署名は実施しました。約230万筆集約でき、紹介議員としてお願いした国会議員31名に提出していただきました。

毎年、私学助成の拡充や学費の無償化を求めて「全国私学助成をすすめる会」主催の院内集会在国会の議員会館であり、中央官庁などへの要請行動に参加しています。

また、父母懇の一年間の活動、県の助成金制度、市町村私学助成制度をまとめた冊子『ようこそ私学へ』の編集をしています。新入生や中学生の私学への案内書として利用されています。

今年度、年収720万円以下は学費無償化が実現しましたが、さらなる無償化拡充に向けて活動を推進していきます。

### ■会報部

会報部は、「愛知父母懇ネットニュース」の発行に向けて、記事の編集、校正を重ねて皆様にお届けする活動をしています。

今年度はコロナの影響で、学園、ブロック、センターの活動も限られた中で取材と原稿の依頼をさせていただきました。皆様のおかげでネットニュースを3号まで発行できたことは会報部一同、安堵とともに喜びを感じております。

特に第2号はオータムフェス全会場の様子を限られた紙面ではありましたが、11月から12月にかけて会報部が全員集合して、毎回2時間の作業を原則に仕上げました。印刷できた時の喜びと、お届けできた時の嬉しさはひとしおです。

部会では毎回多数の意見交換もあり、大いに語らう中で可能な限りランチ会を実施し大満足な1年でした。

最後に、寄稿していただきましたブロック、学園の皆さま、会報部を支えてくださった先生方、父母の皆様に会報部一同、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

### ■研修部

研修部は、「夏季一泊研修会」と「春季一日研修会」を準備・運営し、その研修内容を元に『まとめ集』を作成するのが役割です。

今年度はコロナの影響で、残念ながら「夏季一泊研修会」が中止になりました。2月に予定されていた研修会は一時延期となりましたが、3月に規模を縮小し、また、父母懇初のオンラインを取り入れた「春の研修会」を実現できました。

『まとめ集』は一人でも多くの方の目に留まるように工夫しました。皆様の今後の父母懇活動にお役に立てれば幸いです。

本件に関わって頂いた方々のご協力とご支援に感謝し、深く御礼申し上げます。

今年度の研修部は「できる時にできることをできる範囲で!! どうせやるなら楽しくやろう!!」をモットーに父母16人と先生2人の18人で和気あいあいと活動してきました。コロナ禍で集まる機会が少ない中、Zoomにもチャレンジし繋がってきました。部会では活発な意見交換をし、新たな企画として、BIGフェスでは高フェス出身者の新聞を作成し、12月には「学び合う会」を開催し折出会長の講演を拝聴しました。また、オンライン、QRコードの活用も実現できました。

コロナ禍だからこそ経験できたことがあり、最後までこのメンバーで活動できたことは喜びであり、財産です。

最後に、お忙しい中、早くレポート発表を引き受けていただいたブロック・学園の皆さま、研修部を支えてくださった先生方、父母の皆さまに研修部一同、感謝しています。一年間お世話になり、ありがとうございました。

### ■文化部

たくさんさんの「宴」と「学び」を担当する文化部です。今年はワイワイと楽しく部会を開くこともままならない一年でした。サマセミの延長に続き、一泊研修の中止に伴いレセプションもなくなりました。文化部の存在そのものが危ぶまれる中、「学び」の夏が終わったのでした。一時浮上した「夏の研修会」も立ち消えになり、意気消沈。

11月3日(祝)BIGフェスでは、慎重に議論を重ねた結果、「輪投げ」をすることになりました。これがなかなかの盛況で何とか面目躍如といったところでした。今年こそは富士山を見るぞと鼻息も荒く挑んだ3月のバスツアーも中止が決定し、代替行事の「お楽しみボーリング大会」も幻となりました。

3月21日(日)「春の研修会」こそ皆さんのお役に立ちたいと、休憩時間に着ぐるみでストレッチ体操をしました。これが殊の外参加者の皆さんに楽しんでいただけたようでうれしく思っています。

多方面からの温かいお声がけのお陰で、文化部一同、心を癒し元気を取り戻しています。皆さまのご協力、誠にありがとうございました。

## 諸会議

〈代表者会議〉	第1回 6月29日(月)	労働会館 東館	第2回 8月31日(月)	労働会館 東館
〈幹事会〉	4月24日(土)	労働会館 本館		
〈常任幹事会〉	第1回 6月20日(土)	臨時休会 6月25日(木)	第2回 7月18日(土)	臨時休会 8月3日(月)
	第5回 10月15日(木)	第6回 11月12日(木)	第7回 12月10日(木)	臨時休会 12月16日(水)
	第9回 2月26日(金)	第10回 3月13日(土)	第11回 4月17日(土)	第12回 5月15日(土)
〈春の研修会の会議〉	第1回 3月1日(月)	第2回 3月8日(月)	第3回 3月15日(月)	
			第4回 9月19日(土)	
				第8回 1月16日(土)

# サークル紹介

## 群舞サークル 「ほほえみ」

2003年発足以来、私学会館4階で元気に練習を続けています。その年ごとに工夫を凝らした演出で、父母懇総会のオープニングで皆様に見てもらっています。この1年は「町にみどりの広場がある」の曲で踊れるようにしました。皆様も曲に合わせてハミングしてください。

サークル一同、今後も皆様にも楽しんでいただけるように練習を重ねていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

代表 牧野由美子 指導者 中川初枝



## 平和学習サークル LOVE&PEACE

2015年度の「戦後70年未来プロジェクト実行委員会」の趣旨を受け継ぎ、発展させる活動を目指しています。

今年度は、戦後75周年企画「愛知の戦跡をめぐる自転車ピースリレー」に3日間参加し、高校生や先生方と一緒に学び、父母としてサポートしました。各地で語り部さんたちのお話を聞いて平和について考える高校生の真剣な姿、雨や猛暑の中を走り続ける頑張りやキラキラの笑顔、支える先生方の熱意に、感動と勇気をもらいました。

私たち「平和学習サークル」はその後もピースあいちの見学に出かけるなど、コロナ禍でも負けずに学習を続けています。

2021年度もまだまだ活動が制限されると思いますが、「21世紀型学び」を実践するサークルとして、生徒・先生方とともにみんなで楽しく学び、「平和な未来」のためにできることから一歩ずつ歩んでいきたいです。

☆新メンバー募集中です！

代表 吉井知子 090-1750-8963



## ものづくりサークル はーとふる倶楽部

サークルユニフォームとしてお揃いのエプロンを仕立てました。ものづくりを通して親睦を図るとともに、いろいろな物作りや体験教室などへ出かけそこで得たことを糧に、一泊研修やオータムなどの講座・模擬店で成果を披露したいと思います。また、それらに参加することでさらにつながりを広げ、交流を図りながら楽しく活動していきたいと思っております。

活動：月1回 代表：加藤智恵子

(基本第2土曜日・活動内容により変更あり)



# 2020年度決算報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

## ■収入の部

(単位：円)

款	本年度予算	決算	備考
前年度繰越額	834,120	834,120	
入会金	12,000,000	11,829,000	入会金¥3,000×3,943名
団体会費	6,082,000	6,648,100	会費¥680×9,415名+¥510×90名+私教連¥200,000
利息収入	100	23	
その他の収入	0	0	
合計	18,916,220	19,311,243	

## ■支出の部

(単位：円)

款	項目	本年度予算	決算	備考	
事業費		10,860,000	10,050,257		
	集 会 費	総 会	0	0	名古屋市公会堂使用料等
		大 集 会	500,000	199,518	
		全国交流会	800,000	0	参加費等
		その他集会	200,000	0	初夏のつどいチラシ、会場費・網の目教育懇会場費補助
	助成金活動費		400,000	240,000	
		すすめる会	240,000	240,000	
		活 動 費	130,000	0	
	一億円募金活動費		30,000	0	
		研 究 活 動 費	760,000	329,135	
		全私研参加	300,000	0	参加者研修費・宿泊費補助等
	一泊研修会		160,000	61,849	参加者交通費・宿泊費補助・記録費・レセプション補助等
		教 研 集 会 等	300,000	267,286	一日研修記録費等
	広報活動費		300,000	853,050	父母懇ニュース発行
	文化活動費		140,000	90,000	サークル活動費
	活動援助費		7,500,000	8,267,016	学園・ブロック還元金等
	渉外費		160,000	71,538	アスクネット会費・慶弔関係等
40周年記念事業		100,000	0		
事務費		6,040,000	4,677,227		
	印 刷 費	900,000	1,423,165	父母懇リーフレット・ようこそ私学へ・世話人名簿	
	通 信 費	300,000	200,445	電話代・郵便代等	
	交 通 費	3,500,000	1,739,300		
	会 議 費	30,000	10,000		
	I T 関 連 費	50,000	22,110		
	事 務 局 費		1,260,000	1,282,207	
		事務所維持費	250,000	240,930	家賃・水道光熱費等
		備 品 費	600,000	700,304	各備品リース代・コピーカウンター料
		消 耗 品 費	400,000	339,433	コピーインク・コピー用紙・封筒等
事 務 費	10,000	1,540	振込み手数料等		
予 備 費		2,016,220	0		
次年度繰越額			4,583,759		
合計		18,916,220	19,311,243		

## 貸借対照表 (2021年3月31日現在)

(単位：円)


資 産		負債及び繰越金	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	75,513	事 務 所 積 立 金	6,450,000
普 通 預 金	4,963,388	未 払 金	758,350
定 期 預 金	185,508	預 り 金	450,000
事 務 所 出 資 金	6,450,000	繰 越 金	4,583,759
仮 払 金	110,000		
前 払 金	457,700		
合 計	12,242,109	合 計	12,242,109

## 2020年度 会計監査報告

2020年度収支決算書及び貸借対照表を監査しましたが、いずれも事実と相違ありませんでした。

2021年4月24日

会計監査

大矢ひかり 

村田明美 

## 2020年度 感謝状贈呈者

岡崎 美弥子	鷺山 実雪	前澤 素己
角田 知里	浦山 美穂	池田 弘美
柴田 千春	加藤 美紀	岡田 晃弘
神谷 千鶴穂	松原 真樹	前田 十六子
大矢 ひかり	諸橋 沙織	金澤 晶代
渡辺 邦夫	渡邊 真由美	山岡 直人
今枝 亜つ子	権田 真里	近藤 美樹
山本 悠美	加藤 佳世	市川 幸子
寺西 幸治	千田 美保子	高見 亜由美
高木 貴子	宮崎 きよ子	
木村 恵美	犬塚 真寿美	
酒井 活明	新谷 匡人	
峰野 成彦	伊藤 有紀	
加藤 尚美	奥藤 笑子	
杉岡 幸二	水野 智慧	
三澤 佐代	鵜飼 亜矢子	
吉田 治子	三輪 真由美	
栗山 由美子	宗宮 幸子	
戸田 朋美	小島 昌子	
佐野 冬子	井上 智量	
岩本 美保	榎野 敬太	
河邊 久仁江	神谷 智江	
牛山 佳恵	市原 登志美	
加藤 悦子	水口 くるみ	

## 2021年度 役員 (案)

役職名	氏名	選出母体
会長	折出 健二	常任幹事会
会長代行	西手 尚子	常任幹事会
副会長	遠藤 久美子	名中センター
事務局 局長	川井 葉子	名東センター
事務局 次長	下畑 千代子 小澤 慶子 清水 俊雄	西三河センター 名西センター 名南センター
会計	阿部 江里子 大塚 潤子	東海 愛知 淑徳
書記	小野澤 勝 宮崎 きよ子	市 邨 朋
助成金部 部長	小坂 幸枝	尾張東部センター
副部長	石塚 由紀子	知多センター
副部長	岡本 みどり	名西センター
副部長	戸田 朋美	名西センター
会報部 部長	稲垣 直子	西三河センター
副部長	千田 美保子	名北センター
副部長	濱地 香理	東 邦
副部長	村瀬 雅彦	愛知 黎明
研修部 部長	浅井 ますみ	尾張西部センター
副部長	近藤 育子	名南センター
副部長	前田 十六子	西三河センター
副部長	横山 あやの	名東センター
文化部 部長	佐々木 聡子	名北センター
副部長	岩本 美保	知多センター
副部長	出口 久俊	名中センター
副部長	山下 みどり	安 城
会計監査	村田 明美 長坂 佳子	桜 丘 豊 川
名誉顧問	竹本 弘 中川 初枝 佐藤 廣和 山田 肥名子 安井 浩樹 寺田 京子	常任幹事会 常任幹事会 常任幹事会 常任幹事会 常任幹事会 常任幹事会
顧問	岡崎 美弥子 角田 知里 柴田 千春	常任幹事会 常任幹事会 常任幹事会

## 2021年度 活動計画(案)

私学をよくする愛知父母懇談会は、「ひとりぼっちの父母をつくらない」を合言葉に、子どもたちを真ん中に、父母、先生、市民が一緒になって、お互いに学び合い、助け合い、共に成長していく環境づくりを行ってきました。昨年度は、コロナ禍で思うように活動ができない中でも、工夫をして活動を進めてきました。まだまだ終息の見えない、新型コロナウイルスとの長期戦になっていますが、一番大事なものは人と人、出会いと対話、心と心をつなぐことで、安心感を得て目的を共有し、活動できることだと思っています。かけがえのない人たちと、仲良く朗らかに、<今>だからこそ、笑顔で心をつなぎ、希望の未来に向かって大きな力を発揮してまいりましょう！

2021年度も、高校生たちや多くの父母とともに、お互いの成長を目指した「21世紀型学び」で、時代と社会が求める人間教育を創り出し、個人から家庭、家庭から地域、地域から社会へ、世代を超えた“つながり”を創造し、平和で生き生きとした社会を目指して、以下の活動に取り組んでいきます。

- 1) ブロック・学園の活動を充実させ、父母、生徒、先生、市民がつながる「21世紀型学び」を、生き生きと創り出します。
  - ① ブロックと学園が力を合わせ、市民とともに、子どもたちの輝きや躍動で溢れる「オータムフェスティバル」を開催します。
  - ② ブロック・学園で定期的に教育懇談会を開催します。
  - ③ アスクネットと協働し、各ブロック・学園で市民参加の学びを創造していきます。
  - ④ 愛知私学の「人間教育」の魂を伝える『されど波風体験』と『大きな学力』の学習・普及活動を推進し、「生きる力」を育む人間教育、「21世紀型学び」へと教育改革を進めていきます。
- 2) 第32回愛知サマーセミナーに主体者として参加し、人々や地域とつながりながら、「21世紀型学び」を発展させます。
  - ① 第32回愛知サマーセミナー【会場：名城大学（ナゴヤドーム前キャンパス）・市邨中学高校】の成功をめざして活動します。
  - ② コロナ禍の中でも、みんなが主体的に学び楽しむことができるように、感染防止対策を徹底して、安心して参加できるサマーセミナーをめざします。
- 3) 子どもたちが家庭の経済状況を心配せず、誇りをもって私学を選び、学ぶために、「私学選択の自由」「私学無償化の拡充」をめざして、学費と教育条件の「公私格差の解消」を求める活動を展開します。
  - ① 国に対して「就学支援金の拡充」を求める全国統一署名に取り組みます。
  - ② 「私学選択の自由」「私学無償化の拡充」を求めて、県や県議会、市民に理解と共感を広げ、オータムフェスティバルの成功にむけて全力で取り組みます。
  - ③ 市町村独自の授業料軽減助成の拡充をめざして、地域の活動をすすめます。
- 4) 生徒たちの学びを支援し、共に学び、行動する社会力を涵養します。
  - ① 愛知県高校生フェスティバルの活動を積極的に支援していきます。
  - ② 「私学奨学資金財団」一億円募金活動を支援して、子どもと教育を守る市民のネットワークを広げ、理解と善意の輪を広げて行きます。
  - ③ 生徒が主体的に参加し、社会とつながる学びを積極的に支援します。先生や地域の市民と協力しながら、私たちが一緒に学び成長していきます。
- 5) 愛知父母懇の活動を充実させ、組織を強くします。
  - ① 学びや文化活動など、レクリエーション活動を通じて、出会いを大切に楽しくてやりがいのあふる父母懇活動をすすめ、会員相互の親睦を深め、仲間の輪を広げます。
  - ② コロナ禍の中できることを工夫して、豊かな地域センターの活動をすすめ、ブロックと学園のつながりを深めます。
  - ③ 各実行委員会、推進委員会の活動を活性化します。
  - ④ 会報やニュースの発行、父母懇のホームページを活用した情報発信を行い、広く地域の市民へ私学教育、父母懇活動への理解を求めていきます。
- 6) 夏季研修会、春季研修会を開催して、愛知父母懇のさまざまな活動を学び合い、父母懇活動の理解と会員同士の交流を深めていきます。
- 7) 10月開催予定の「全国父母懇交流集会」について、愛知が主催県として期待されていることを受け止め、コロナ禍における開催形態を検討して取り組みます。
- 8) その他愛知父母懇の理念に基づき、目的達成に必要な諸活動をすすめます。



# 2021年度 スローガン(案)

1 「街とつながる学校」「ひとりの子どもを救おう」を合言葉に、地域に根ざした学校改革・教育改革をめざしましょう。

2 子どもたちが誇りをもって私学を選び、学ぶために、「私学選択の自由」「私学無償化の拡充」をめざして、父母懇の総力を結集しましょう。

3 無償化が広がった今こそ、県下全域で「網の目教育懇談会」を開催し、小中学生の父母や市民と語り合いながら、私学教育への共感と理解を拡げていきましょう。

4 「地域別県民文化大祭典2021」を通して、子どもたちを真ん中に父母、先生、市民、公立中学校とつながり、「21世紀型学び」を多彩に創り上げていきましょう。

5 「地域センター」の活動を発展させ、地域を舞台に、ブロックと学園のつながりをさらに強めましょう。

6 子どもと教育を守るネットワーク運動を積極的にすすめ、私学奨学資金財団「一億円募金」の理解と善意の輪をさらに広げましょう。

7 コロナ禍の中で感染防止の距離はとって心身の親密さを大事に育て、今できる形の「学び」や「文化活動」「レクリエーション」を通じて、楽しいブロック・学園活動をすすめ、「ひとりぼっちの父母をつくらない」を合言葉に、新しい仲間づくりを活発にすすめましょう。

8 『されど波風体験』『大きな学力』の学習・普及運動に取り組み、「21世紀型学び」を豊かに創造しながら、父母懇運動への理解と協力を深め、市民ぐるみの運動へと、推進、発展させましょう。

# 私学をよくする愛知父母懇談会会則(案)

## 1. 名称

この会は、私立学校をよくしたいとねがう父母の自由な懇談会で「私学をよくする愛知父母懇談会」(略称「愛知父母懇」と称します。

## 2. 目的

この会は、県民が誇りをもって選び、学び、語ることでできる私学づくりをめざし、次のことを目的とします。

- (1)子どもを生き生きと成長させるために、教職員とも連携しながら、各学園に豊かな私学教育を創造し、家庭や地域の教育力を回復するために努力します。
- (2)父母負担を軽減し、受験地獄を解消するために、学費の公私格差の解消をめざして、公費助成の大幅増額のために努力します。
- (3)要望や意見を率直に出し、自由に話し合う中で、教職員や父母相互の理解と連帯を深めるとともに、各界各層の団体や県民・地域住民とも交流し、私学の充実発展を求める県民の合意と世論を広げるために努力します。

## 3. 活動

この会は、目的を実行するために、次の活動を行います。

- (1)教職員の協力も得て、教育について学びあい、話し合うための集会を持ちます。
- (2)公費助成運動をすすめます。
- (3)会員相互の親睦と連帯を深め、広く父母の参加を呼びかけます。
- (4)学園・地域における父母の活動について交流、懇談します。
- (5)父母と教職員の結びつきを各学園においてもひろげます。
- (6)目的を同じくする他の団体と交流・連携します。
- (7)会報やニュースを発行します。
- (8)その他、会の目的達成に必要な諸事業を行います。

## 4. 構成

(1)この会は、個人会員および団体会員をもって構成する。

### 会員の資格

個人会員：入会金を納めた個人

団体会員：団体会費を納めた団体に所属している会員

(2)会員はブロックにすべて所属し、活動することを原則とする。

## 5. 運営

この会を運営するために、次の機関をもうけます。機関での決定は、出席者の過半数とします。

- (1)総会(定期総会は年1回とし、必要に応じて随時開催する)
- (2)幹事会(随時開催する)
- (3)常任幹事会(随時開催する)
- (4)各地域世話人会(随時開催する)

## 6. 役員

この会は、次の役員をもうけます。役員任期は1年とし、再選は妨げません。

- (1)会長1名(2)会長代行(必要に応じて)1名(3)副会長若干名(4)事務局長1名(5)事務局次長若干名(6)会計2名(7)書記若干名(8)専門部長・副部長若干名(9)会計監査2名(10)顧問若干名(11)幹事(地域センター・学園・ブロック代表およびその他必要とする役職)

## 7. 財政

この会の経費は、入会金、団体会費および会の活動によってうまれる事業収入、寄付金その他によってまかないます。

## 8. 事業年度

この会の事業年度は、毎年6月1日よりはじめ、翌年の5月31日までとします。(但し、実行委員会については、職務の性質によってはこの限りではない。)

## 9. 改正

この会則の改正は、総会において出席者の3分の2以上の賛同によって行ないます。

## 10. 施行

この会則は、1980年6月15日から実施します。  
この会則は、1982年6月13日から一部改正します。  
この会則は、1984年6月10日から一部改正します。  
この会則は、1987年6月28日から一部改正します。  
この会則は、1992年6月7日から一部改正します。  
この会則は、2019年6月1日から一部改正します。